

| 羅 針 盤                            |  |   | 方 策   |   | 第1回 点検・評価 |             |   | 第2回 点検・評価                       |             |   |
|----------------------------------|--|---|---|---|-----------|-------------|---|---------------------------------|-------------|---|
| 評価対象                             | 評価項目                                   | 具体的数値項目   |   |   | 自己評価      | 外部アンケート等    | 改善策   | 自己評価                            | 外部アンケート等    | 改善策   |
| I 特色ある学校づくりに努めていますか。             | 1 特色ある教育活動を行っていますか。                    | ① 自分の学校が好きだと感じている生徒が70%以上である。                               | 一人一人の生徒が、達成感や自己肯定感を得られるように、授業や学校行事を進める。   |   | B         | 生徒B<br>保護者A | 二者面談やアンケートの結果を生かし、行事の見直しや授業改善に努める。                                  | A                               | 生徒B<br>保護者A | コースの特色を活かした授業や行事を実施し、達成感が得られるような指導を継続する。                                      |
|                                  |  | ② 習熟度別や少人数制の授業形態に満足している生徒が70%以上である。                         | 学習内容の効果的な定着が図れる授業の展開と学習に集中できる環境づくりを行う。  |   | A         | 生徒A<br>保護者A | 多様な生徒に対応できるよう授業内容を工夫し、生徒の満足度を高める。                                   | A                               | 生徒A<br>保護者A | 学習環境整備に努め、生徒の実態にあった指導を工夫する。   |
|                                  | 2 地域と連携し、地域の教育力を活用していますか。              | ③ 「総合的な探究の時間」や学年行事等に、意欲的に取り組んだ生徒が70%以上である。                  | 「総合的な探究の時間」「課題研究」、学年別体験学習・講演会等の機会に地域の方を講師として交流を図るとともに、地域に対する視野を広げる活動を推進する。            |   | B         | 生徒A<br>保護者A | より充実した内容になるよう、委員会や各学年を中心に対応する。                                      | A                               | 生徒A<br>保護者A | 地域の持つ財産を活用し、地域に必要とされる学校づくりを進める。   |
|                                  |  | ④ 「ぐんまコミュニティー・ハイスクール事業」等の地域と連携した事業や諸活動に意欲的に参加した生徒が70%以上である。 | 地域の団体・施設等と連携し、「ぐんまコミュニティー・ハイスクール事業」を積極的に推進する。   |   | B         | 生徒B<br>保護者A | 地域との連携を深め、多くの生徒が関わることができる行事を検討する。                                   | A                               | 生徒B<br>保護者A | 地域の団体・施設等との連携を一層深め、多くの生徒の参加を促す。   |
| II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。  | 3 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。                 | ⑤ 「学び直し学習」や「学び合い学習」を取り入れた授業がわかりやすいと考えている生徒が70%以上である。        | 教員相互の授業参観や研修を重ね、授業改善に努める。また、生徒の学習状況をみとり、情報の共有化を図る。                                    |   | A         | 生徒A<br>保護者A | 教員相互の授業参観や研修を実施する。また、考査や授業アンケートの結果を授業改善に生かす。                        | A                               | 生徒A<br>保護者A | 教員相互の授業参観や研修を重ねるとともに、授業アンケートの結果を授業改善に生かす。                                     |
|                                  |  | ⑥ 多様な進路に対応した学習が役立っていると評価している生徒が70%以上である。                    | 学習習慣の確立や資格取得の重要性を保護者にも理解してもらい、積極的な取組を促す。  |   | B         | 生徒A<br>保護者A | コースの特色を生かした授業内容・形態及び資格取得に向けた指導法を工夫する。                               | A                               | 生徒A<br>保護者A | 多様な進路希望に対応できるように、授業内容のさらなる改善を進める。   |
|                                  | 4 生徒は確かな学力を身に付けていますか。                  | ⑦ 授業に真面目に取り組んでいると自己評価している生徒が70%以上である。                       | 主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業を実践する。   |   | A         | 生徒A<br>保護者A | 授業規律の確保に努めるとともに、生徒が主体的に学習できる環境について検討する。                             | A                               | 生徒A<br>保護者B | 授業規律の確保に努めながら、生徒の実態に即した授業を実践する。   |
|                                  |  | ⑧ 学力の定着を図る指導を充実させ、学力が向上したと自己評価している生徒が70%以上である。              | 基礎的内容の反復から自ら考え解決できるようになるまで、それぞれの段階に応じた指導をする。また、個別の指導も推進する。                            |   | A         | 生徒A<br>保護者A | 教科内だけでなく他教科との横断的な学習への取組を進めるため、指導計画の見直しを行う。                          | A                               | 生徒B<br>保護者A | 引き続き教科・学年が連携し、授業計画の見直しを進めるとともに個々の生徒に必要な支援を行う。                                 |
| III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。 | 5 組織的・継続的な指導を行っていますか。                  | ⑨ 年3回以上の面談指導を行い、面談が役立ったと感じている生徒が70%以上である。                   | 学期に1回担任との面談週間、スクールカウンセラーによる面談日を設け、生徒の変化に即応した相談・支援体制を整える。                              |   | B         | 生徒B<br>保護者A | 面談週間のみならず、授業や行事等で教師からの声かけを実施する。スクールカウンセラーとも連携を図り、不安解消に努める。          | A                               | 生徒A<br>保護者B | 全職員が生徒への組織的・継続的な声かけや面談指導を行う。スクールカウンセラーや外部機関との連携も深めていく。                        |
|                                  |  | ⑩ 部活動に加入し、継続的に活動している生徒が50%以上である。                            | 設置する部活の精選、活動内容の充実に取り組み、生徒の充実感が得られる部活動づくりに努む。  |   | B         | 生徒A<br>保護者B | 設置部活の精選、活動内容の見直しを行う。  | B                               | 生徒B<br>保護者B | 設置する部活動を精選し、活動の充実を図る。充実感が得られる部活動づくりを継続する。                                     |
|                                  | 6 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。            | ⑪ 情報モラルや交通安全、健康に関する講話等が役立ったと評価する生徒が70%以上である。                | 生徒が自分自身のこととして考えられるよう生徒の実態に合った講話内容を実施する。   |   | A         | 生徒A<br>保護者A | 身近な例を盛り込んだ講演会を実施した。今後も、学校生活に生かせる内容を工夫する。                            | A                               | 生徒A<br>保護者A | 今後も各種機関との連携を密にし、安全教育を行っていく。   |
|                                  |  | ⑫ 欠席率5%以下、遅刻率3%以下である。                                       | 長期欠席の生徒には、保護者との連携を密にし、スクールカウンセラーとの相談体制を強化して早期に対応できるようにする。遅刻指導に関しても継続して実施していく。         |   | A         | 生徒A<br>保護者A | 生徒への粘り強い指導や保護者への連絡を密に行う。また、スクールカウンセラーとの連携を強化する。                     | B                               | 生徒A<br>保護者A | 長期欠席の生徒には密な連絡、家庭訪問などを行い、保護者との連携を強めていく。外部機関との連携も随時図っていく。                       |
|                                  | 7 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に行っていますか。    | ⑬ 本校で定めた服装・頭髪に関するルールを遵守していると考えている生徒が70%以上である。               | 挨拶運動時に声かけ指導を継続して実施する。さらに定期的な服装頭髪指導を行い、基本的生活習慣の確立を図る。                                  |   | A         | 生徒A<br>保護者A | 授業や挨拶運動等での声かけ、定期的な服装・頭髪指導を継続する。                                     | A                               | 生徒A<br>保護者A | 定期的な服装・頭髪指導、授業規律の徹底、日常生活における声かけなどを根気強く行い、生徒の規範意識向上に努める。                       |
|                                  |  | ⑭ 学校はいじめの防止と早期発見を積極的に行っていると感じている生徒が85%以上である。                | アンケートや面談の機会に限らず、生徒からの申し出や情報に対応できるよう、いじめ対策委員会を中心として組織的に取り組む。また、生徒会を中心に登校時の挨拶運動を実施する。   |   | B         | 生徒C<br>保護者C | アンケートや面談に限らず、生徒からの申し出や情報に対して迅速に対応する。また、組織的な対応を行うために職員間の情報共有を日常的に行う。 | B                               | 生徒C<br>保護者C | アンケート・面談等による情報収集や職員間の情報共有等により、早期発見・早期解決に努めていく。生徒主体のいじめ防止活動を増やし、いじめを許さない心を育てる。 |
| IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。  | 8 計画的な指導を行っていますか。                      | ⑮ 進路ファイル(含キャリアパスポート)に前向きに取り組んでいる生徒が70%以上である。                | 進路等に関する記録を進路ファイルに保管させることにより、生徒の進路意識を高め、将来の進路選択に役立たせる。                                 |   | A         | 生徒A         | 進路ファイルの取り組み状況を(進路指導部として)定期的に確認する。                                   | A                               | 生徒A         | 各学年で新学期当初から進路指導が進められるよう進路ファイルの見直しを進める。  |
|                                  |  | ⑯ 進路関連行事に意欲的に取り組んでいる生徒が70%以上である。                            | 進路ファイルを活用し、毎月、進路学習の時間を設け、取り組ませ、将来についての意欲を喚起する。  |   | B         | 生徒B<br>保護者A | 進路行事を精選し、興味・関心を引き出せるようにする。  | A                               | 生徒A<br>保護者A | 進路行事の内容を見直すとともに、外部機関とも連携し、進路に対する興味・関心を高める。                                    |
|                                  | 9 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。 | ⑰ 「将来の職業」や「卒業後の進路」について前向きに考えている生徒が70%以上である。                 | 『進路のてびき』を家庭用にも配布し、生徒と保護者で進路に対する共通認識を深めてもらうよう働きかける。                                    |   | A         | 生徒A<br>保護者A | 生徒の進路に対する現在の考えを家庭でも把握できるように進路調査票等を工夫する。                             | A                               | 生徒B<br>保護者A | 進路ファイルを活用した振り返りの時間を確保するなど、事後指導を充実させる。   |
|                                  |  | ⑱ 生徒の卒業後の進路について一度でも話し合いをした家庭が70%以上である。                      | 『進路のてびき』を家庭用にも配布し、生徒と保護者で進路に対する共通認識を深めてもらうよう働きかける。                                    |   | B         | 生徒B<br>保護者A | 家庭での話し合いの結果を、記録に残せるようキャリアパスポートを改善する。                                | B                               | 生徒C<br>保護者A | 「進路のてびき」や三者面談等を活用し、生徒・保護者が進路について話し合う機会を積極的に設定する。                              |
| V 開かれた学校づくりに努めていますか。             | 10 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。            | ⑲ 「学校の様子がよく分かる」と感じている保護者が70%以上である。                          | WEBページや学校通信、電子メール等を利用して保護者や地域に情報を発信するとともに、授業を一般公開していく。また、全学年で三者面談を行い、学校と家庭で情報の共有化を図る。 |   | A         | 保護者A        | 行事後なるべく早くWEBページを更新することで、保護者や地域への広報活動を充実させる。                         | A                               | 保護者B        | さらなる広報活動を図るため、WEBページの更新を随時行い、本校の特色が伝わるようにする。                                  |
|                                  |  | ⑳ PTA関係行事への保護者の参加が40%以上である。                                 | 定期的にPTA運営委員会を開催し、現状に応じた対応策を検討していく。  |   | A         | 保護者A        | 学年別保護者説明会等で、これまでのPTA行事について周知し、理解を求める。                               | A                               | 保護者A        | PTA行事への参加率向上に向け、行事の点検や見直しを行う。   |
| VI 教育のデジタル化に努めていますか。             | 11 ICTを活用した指導を行っていますか。                 | ㉑ ICTを活用した授業に、生徒の70%以上が満足している。                              | 授業評価アンケートの活用や教員相互の授業参観及び校内研修を実施し、授業改善を図る。   |   | A         | 生徒A         | ICT機器の特性を生かした授業を工夫するとともに、教員相互の授業参観や研修内容を検討する。                       | A                               | 生徒A         | ICT機器を効果的に活用した授業改善に努める。教員相互の授業参観や研修を行う。                                       |
|                                  |  | 12 ICTを活用した業務改善を行っていますか。                                    | ㉒ ICTを活用した通知等に、生徒・保護者の70%以上が満足している。   | 通知内容や方法の見直しを行い生徒・保護者に必要な情報を迅速かつ分かり易く発信するとともに、WEBアンケートを実施する。 |           | A           | 生徒A<br>保護者A   | アンケート結果を踏まえ、通知内容やWEBページの見直しを行う。 | A           | 生徒A<br>保護者A   |